

ALOS-2基本観測シナリオ(第4版)

2025年10月3日
SAOC(ALOS-2担当)

<目次>

1. はじめに
2. 目的および背景
3. 基本観測シナリオ（日本域）
4. 基本観測シナリオ（世界）

1. はじめに

本資料は、ALOS-2の後期利用運用においてALOS-2/ALOS-4の並行運用という新たなフェーズに入るため基本観測シナリオの見直しを実施し、第4版として制定したものである。

今後もユーザの意見等を反映して6ヶ月に一度シナリオの見直しを行う。

過去の基本観測シナリオについては、第3版N改定を参照のこと。

2. 目的および背景

陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)は、災害監視、国土管理、資源管理、資源探査および新たな分野への利用拡大をミッションとしていることから、ミッション目的に応じたユーザの観測要求はさまざまである。

一方、ALOS-2は複数の観測モードを有し、左右視を含めた入射角の変更が可能であることから、観測要求の競合が起きやすい。

ミッション目的達成には、限られた観測リソースを有効活用するための共通的な観測シナリオを設定し、時間的・空間的に系統的な観測を行うことが求められる。

2024年7月に打ち上げられたALOS-4が2025年4月から定常観測運用期間に入り、日本域3m、全球10mの観測を開始したことから、ALOS-2では全球10mの優先度を引き下げ、並行運用により実現可能な他の観測(ALOS-4と合わせての特定地域に対する高頻度観測、ALOS-4での右観測に対しALOS-2を左観測とすることによる2.5次元解析等)へリソースを振り分ける方針とした。今後もALOS-4の観測運用状況に応じて都度調整を実施していく。

3. 基本観測シナリオ（日本域）

3.1 基本観測シナリオ(日本域)の概要

- 日本域はALOS-4で昇交軌道・降交軌道ともに3mの右観測を実施する。
そのためALOS-2では左観測を基本とすることにより、2.5次元解析に利用するなどリソースの有効活用を目指すこととした。
- 冬期(1～3月)の観測は積雪地域を除いた下図の領域を対象とする。



なお、災害ベースマップや今後(2026年4月以降)の基本観測シナリオについては現在調整中となっている。

3.2 基本観測シナリオ（日本域）【12～13年目：観測パターン】

■12年目

回帰	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	
年	2025年												2026年														
回帰開始日	07/21	08/04	08/18	09/01	09/15	09/29	10/13	10/27	11/10	11/24	12/08	12/22	01/05	01/19	02/02	02/16	03/02	03/16	03/30	04/13	04/27	05/11	05/25	06/08	06/22	07/06	
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測 + 海水				海水				定期的な差分干渉観測 + 海水				海水									
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L									
アセン ディング	災害ベースマップ						定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測														
	U3 (10)R	U3 (11)R	U3 (12)R	U3 (13)R	U3 (14)R		W2 (2)L	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L									

■13年目

回帰	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339
年	2026年												2027年													
回帰開始日	07/20	08/03	08/17	08/31	09/14	09/28	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29	04/12	04/26	05/10	05/24	06/07	06/21	07/05
ディセン ディング																										
アセン ディング																										

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
黒字		左観測	HH	6-9
白字		右観測	HH	10-14
黒字		左観測	HH	10-14
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

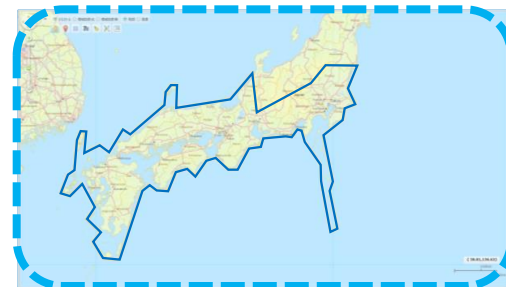
【番号体系】

例：F2 (6) Rの場合

F2 ビーム区分

(6) ビームNo

R 観測方向
(R: 右、L: 左)



冬の日本の観測範囲

※307回帰以降の基本観測シナリオは未定（調整中）である。

※過去の観測パターンは巻末付録参照

4. 基本観測シナリオ(世界)

4.1 基本観測シナリオ(世界)の概要

- ALOS-2での基本観測シナリオ(世界)は主に以下の種別がある。

- 1) 全球10m(高分解能10m)
- 2) 湿地・伐採(広域観測350km)
- 3) 極域(広域観測350km)
- 4) 地殻変動(広域観測350km)
- 5) スーパサイト

全球10mについては、ALOS-4で全球観測を実施することでALOS-2側の全球観測における優先度を下げることにより発生するリソースを基本観測以外の重要観測(ALOS-4と合わせて特定地域に対する観測等)へ分配することとした。

湿地・伐採及び極域については、ALOS-4での広域観測は災害ベースマップのみで年に2回の頻度となることからALOS-2では優先度を維持して継続観測することとした。

地殻変動については、すでに観測頻度及び優先度を引き下げていることもあり、現在の条件のまま継続観測することとした。

なお、スーパサイトは基本観測シナリオ(世界)に影響しない範囲で観測を実施する。

4.2 基本観測シナリオ(世界)【12～13年目:観測パターン】

■12年目

回帰年	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313
回帰開始日	07/21	08/04	08/18	09/01	09/15	09/29	10/13	10/27	11/10	11/24	12/08	12/22	01/05	01/19	02/02	02/16	03/02	03/16	03/30	04/13	04/27	05/11	05/25	06/08	06/22	07/06
ディセンディング		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	地殻 1	湿地伐採2 (A+B) 地殻 2	湿地伐採 1 (A+B)			湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)		湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)
		W2 (2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R W2(2)R	W2 (2)R			W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R
アセンディング	World E(10m)			地殻 ScanSAR 置き換え1	極域	World F(10m)				ScanSAR 置き換え2				北極域	南極域											
	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2(2)R W2(2)R	W2(2)R W2(2)L	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R		W2 (2)R				W2(2)R												

■13年目

回帰年	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339
回帰開始日	07/20	08/03	08/17	08/31	09/14	09/28	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	03/01	03/15	03/29	04/12	04/26	05/10	05/24	06/07	06/21	07/05
ディセンディング		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	地殻 1	湿地伐採2 (A+B) 地殻 2	湿地伐採 1 (A+B)			湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)		湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)		湿地伐採 2 (A)	湿地伐採 1 (A)	湿地伐採 2 (A+B)	湿地伐採 1 (A+B)
		W2 (2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R W2(2)R	W2 (2)R			W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R
アセンディング				地殻変動	極域									北極域	南極域											
				W2(2)R	W2(2)R W2(2)L									W2(2)R												

* 優先度3051以上のみ記載

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6～9
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3～7
白字	高分解能10m	右観測	HH+HV	5～7
黒字		左観測	HH+HV	6
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		右観測	HH	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白字	広域観測490km	右観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例: F2 (6) Rの場合

- F2 ビーム区分
- (6) ビームNo
- R 観測方向(R: 右、L: 左)

※優先度を大幅に引き下げた地殻変動(降交軌道・10m)や
全球10mは採用率が大幅に低下するため上記パターン表
からは削除とした。
以前と同じタイミングで観測は継続しており、リソースの
余剰があれば観測が採用される場合がある。

※過去の観測パターンは巻末付録参照

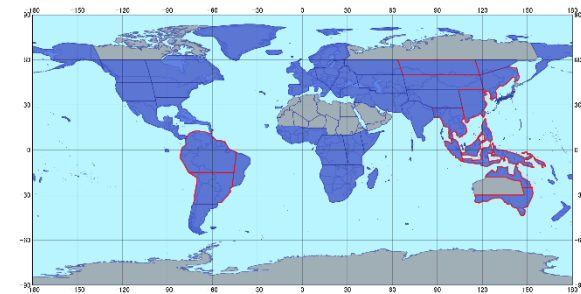
基本観測シナリオ(世界)

全球陸域観測(12年目:297回帰まで)

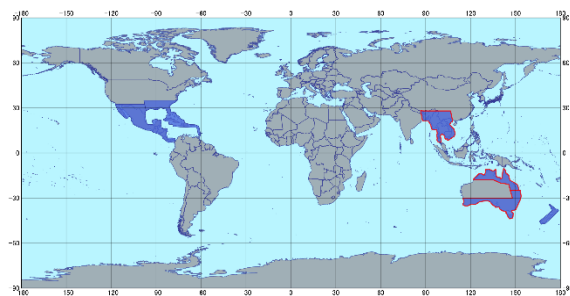
観測頻度:昇交軌道 1回/年

分解能: 10 m (オフナディア角 28.2° - 36.2°)

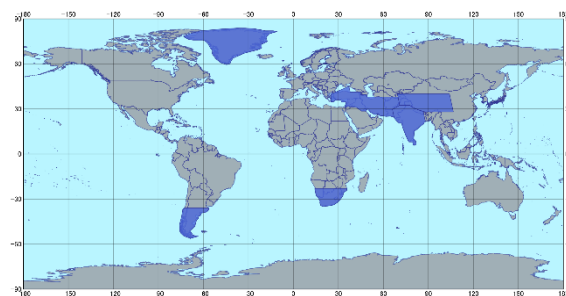
観測モード: 高分解能 (HH+HV/28MHz)



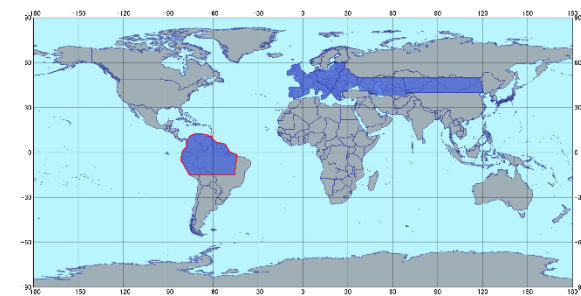
赤枠:優先的取得エリア



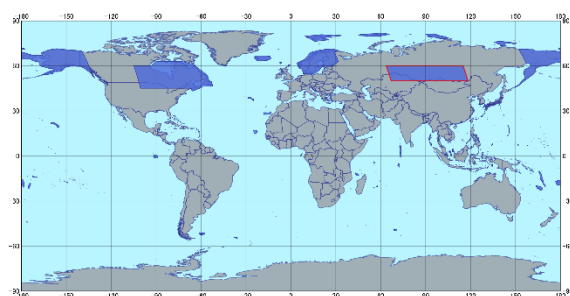
WorldA(12月中旬から1月下旬)



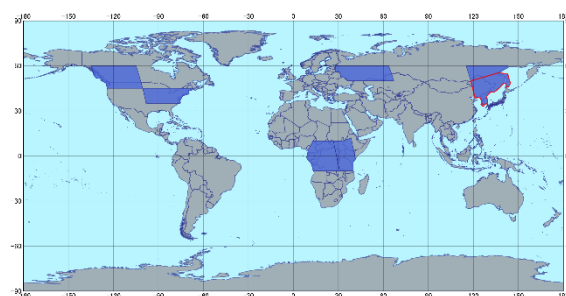
WorldB(2月上旬から4月上旬)



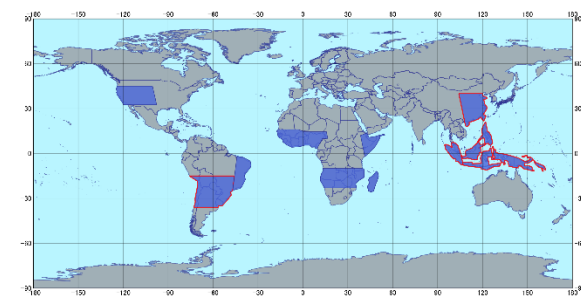
WorldC(4月下旬から6月上旬)



WorldD(6月中旬から7月下旬)



WorldE(7月下旬から9月上旬)



WorldF(10月上旬から11月中旬)

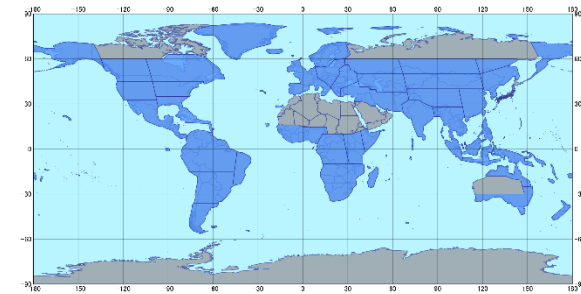
基本観測シナリオ(世界)

全球陸域観測(12年目:298回帰以降)

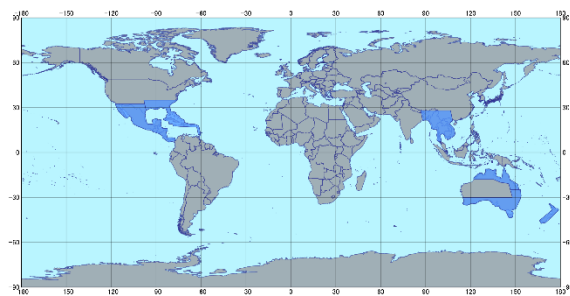
観測頻度:昇交軌道 1回/年

分解能: 10 m (オフナディア角 28.2° - 36.2°)

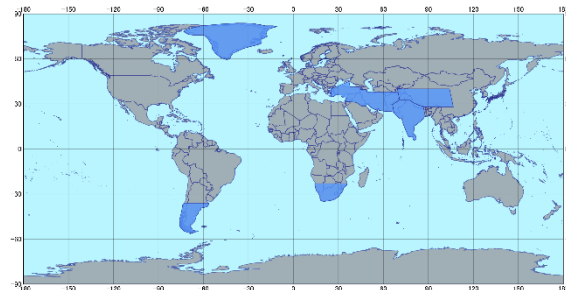
観測モード: 高分解能 (HH+HV/28MHz)



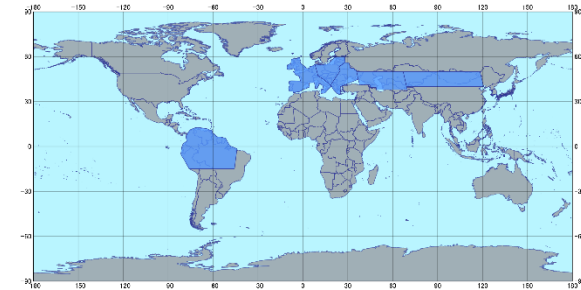
WorldA~F(優先度低)



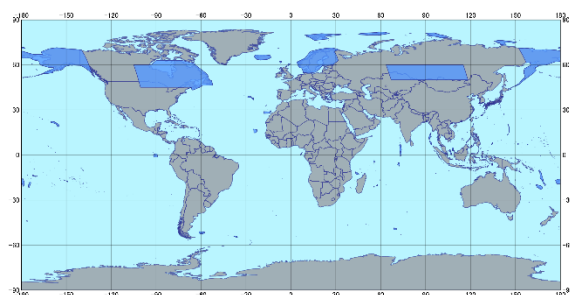
WorldA(12月中旬から1月下旬)



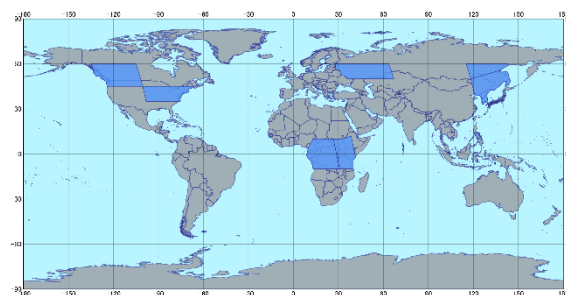
WorldB(2月上旬から4月上旬)



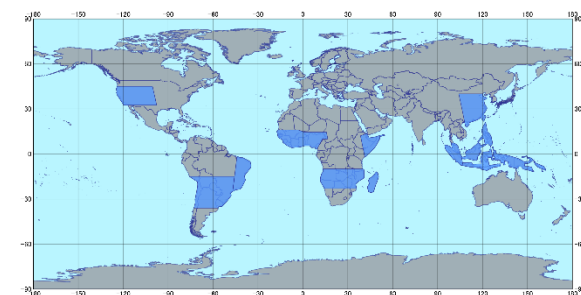
WorldC(4月下旬から6月上旬)



WorldD(6月中旬から7月下旬)



WorldE(7月下旬から9月上旬)



WorldF(10月上旬から11月中旬)

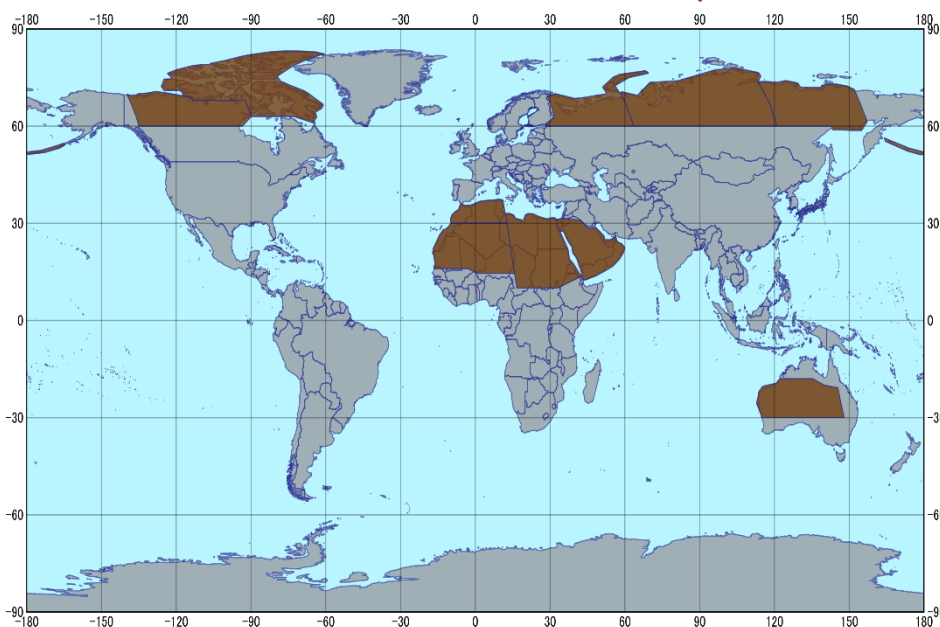
基本観測シナリオ(世界)

全球陸域観測(9年目:239回帰以降)

観測頻度: 昇交軌道 1回/年

分解能: 100 m (オフナディア角 26.2° - 41.8°)

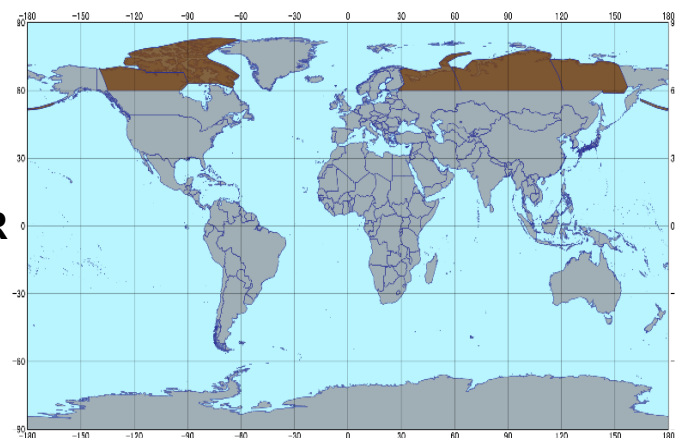
観測モード: 広域観測 350km (HH+HV/14MHz)



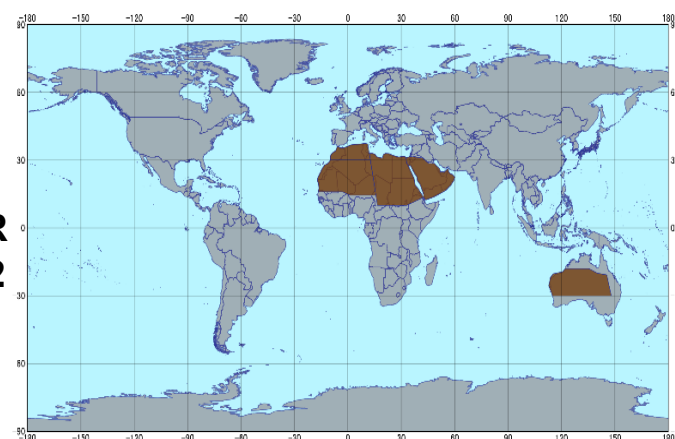
全球10m ScanSAR置き換え観測エリア

全球10mの置き換え観測として、雪氷・砂漠地域の一部エリアを
全球10m ScanSAR置き換え1と全球10m ScanSAR置き換え2に
分割して観測を行う。なお、298回帰以降は優先度を下げる。

全球10m
ScanSAR
置き換え1



全球10m
ScanSAR
置き換え2



基本観測シナリオ(世界)

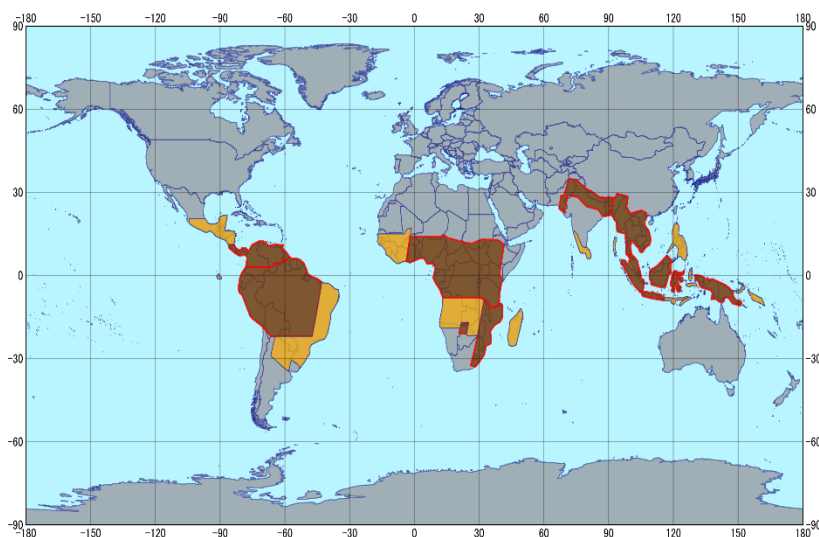
湿地・伐採モニタリング(10年目:255回帰以降)

観測頻度: 降交軌道 9回/年(A)、5回/年(B)

分解能: 100 m (オフナディア角 26.2° - 41.8°)

観測モード: 広域観測 350km (HH+HV/14MHz)

■ 年9回観測(A)
■ 年5回観測(B)

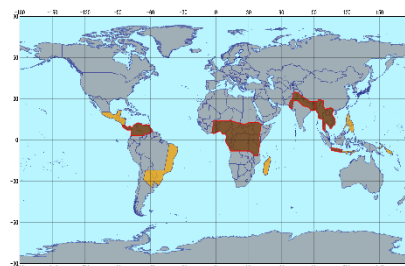


湿地・伐採エリア

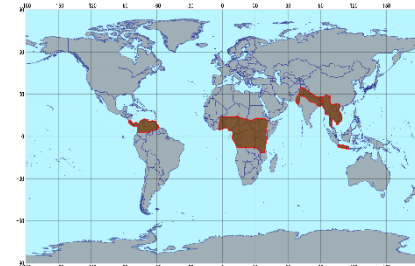
エリアを湿地伐採1と湿地伐採2に分割して観測を行う。

*湿地・伐採と地殻変動で重複する観測エリアは
湿地・伐採の回帰において偏波(HH+HV)で観測を行う。

湿地
伐採1

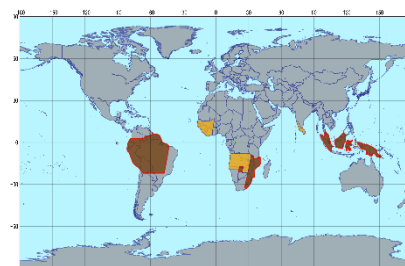


湿地・伐採1(A+B)

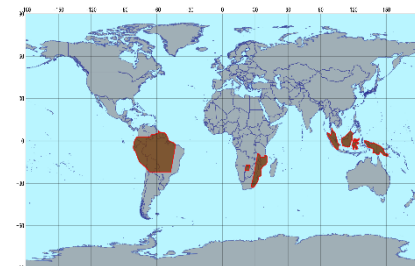


湿地・伐採1(A)

湿地
伐採2



湿地・伐採2(A+B)



湿地・伐採2(A)

基本観測シナリオ(世界)

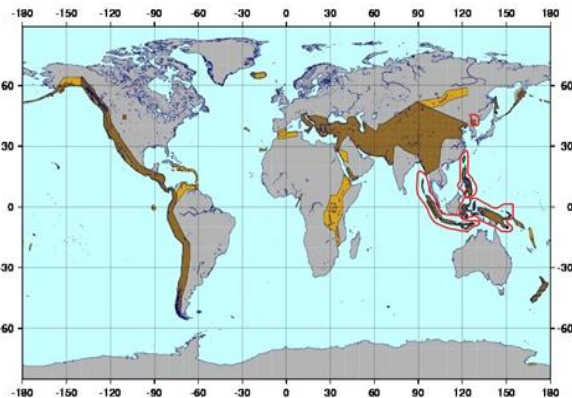
地殻変動モニタリング(9年目:216回帰以降)

観測頻度: 昇交軌道 1回/年、降交軌道 1回/年

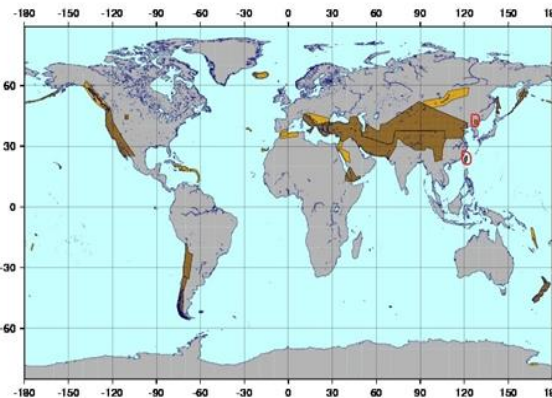
分解能: 100 m (オフナディア角 26.2° – 41.8°)

観測モード: 広域観測350km (HH/14MHz)

優先度 高
優先度 中
優先度 低



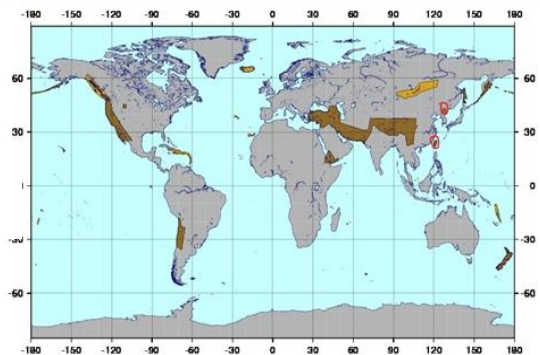
昇交軌道: 年1回



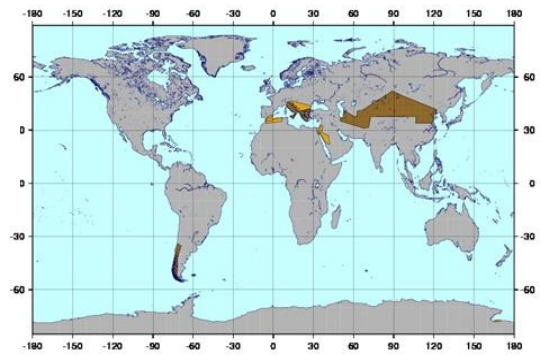
降交軌道: 年1回

エリアを地殻変動1と地殻変動2(左記)に分割して観測を行う。

地殻変動1



地殻変動2



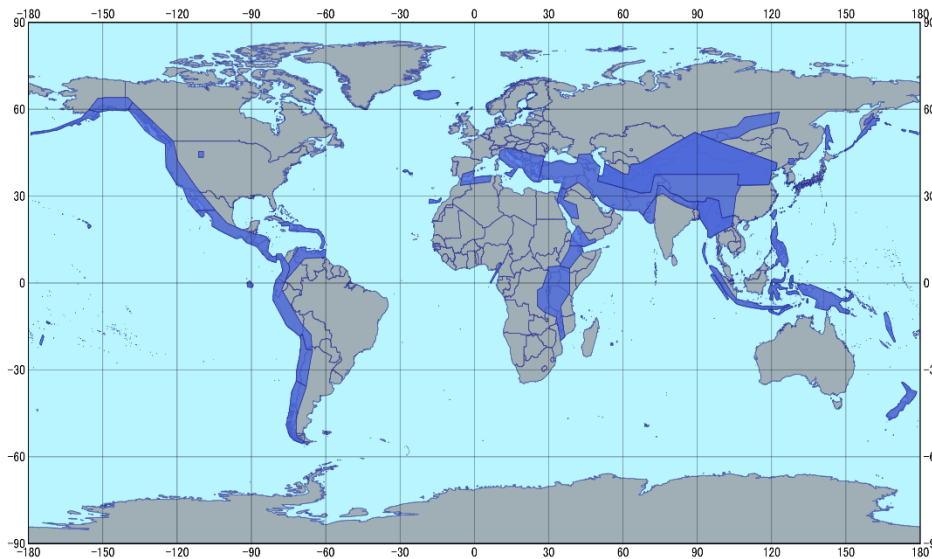
基本観測シナリオ(世界)

地殻変動モニタリング(9年目:216回帰以降)

観測頻度:降交軌道 1回/年

分解能: 10 m (オフナディア角 $28.2^{\circ} - 36.2^{\circ}$)

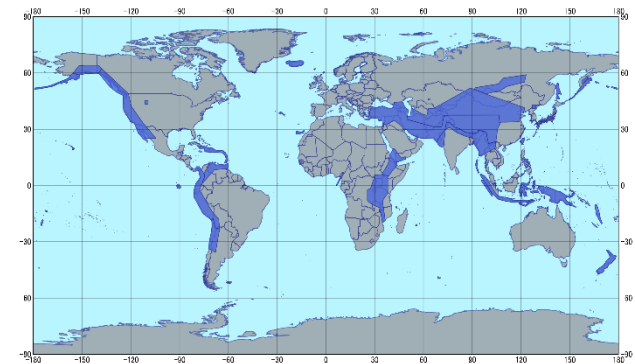
観測モード: 高分解能(HH+HV/28MHz)



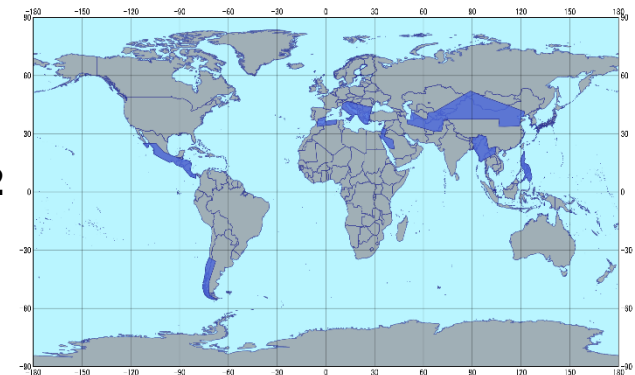
地殻変動 10m

エリアを地殻変動1と地殻変動2に分割して観測を行う。

地殻
変動1



地殻
変動2



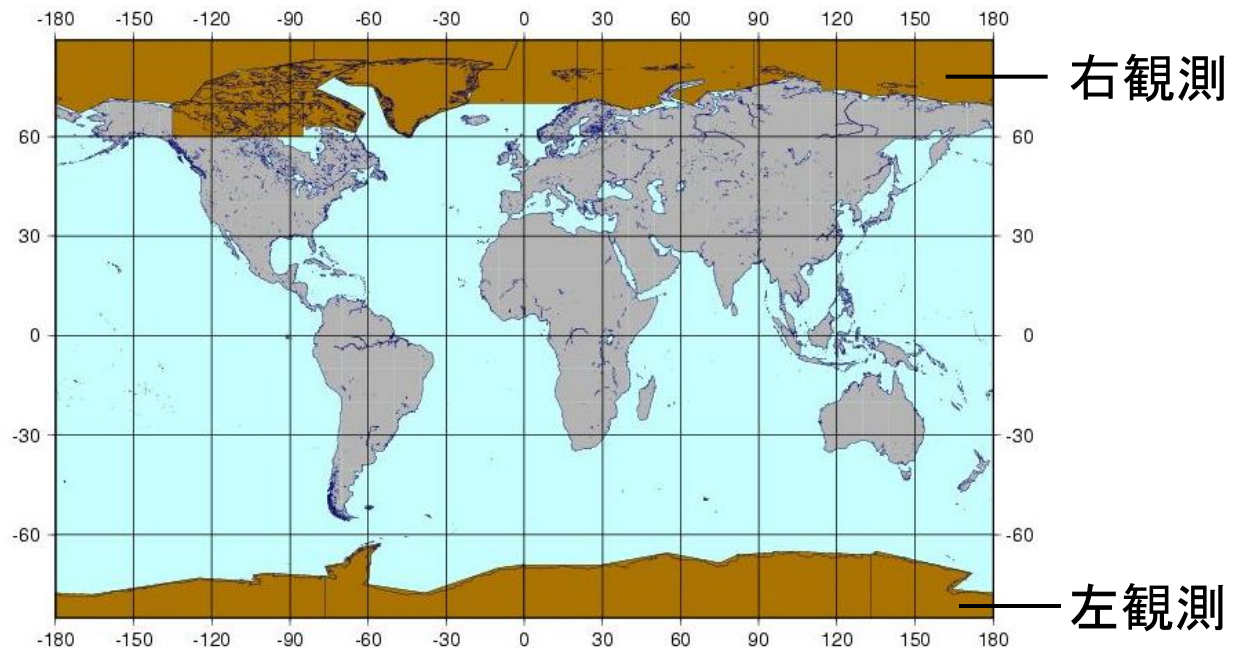
基本観測シナリオ(世界)

極域観測(6年目:138回帰以降)

観測頻度:昇交軌道 2回/年

分解能: 100 m (オフナディア角 $26.2^\circ - 41.8^\circ$)

観測モード: 広域観測350km (HH+HV/14MHz)



スーパーサイト (JAXA)

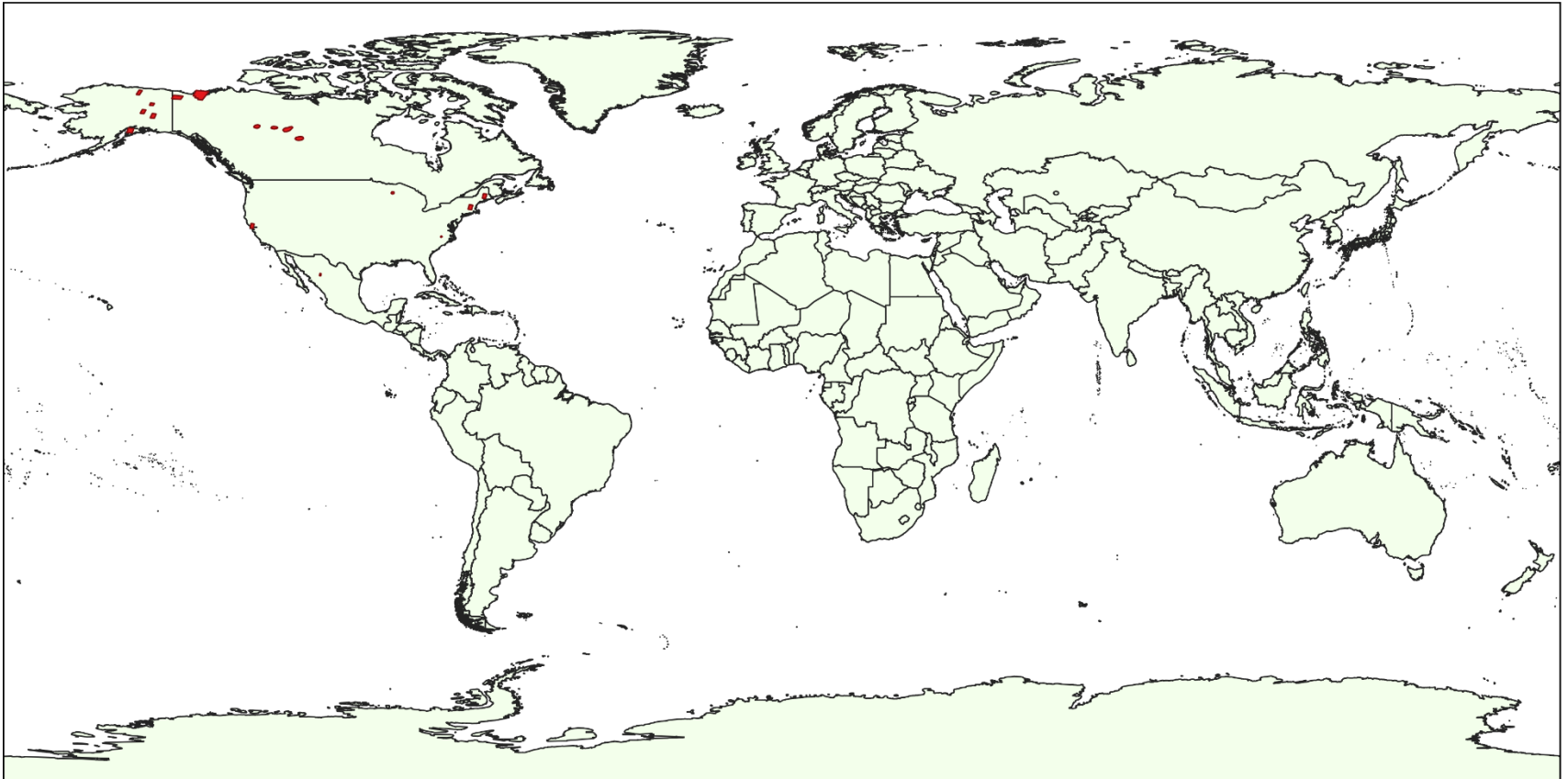
10mスーパーサイト(216回帰以降)

観測頻度: 降交軌道 1回/年

分解能: 10 m (オフナディア角 28.2° – 36.2°)

観測モード: 高分解能 (HH+HV/28MHz)

●: 10mスーパーサイト



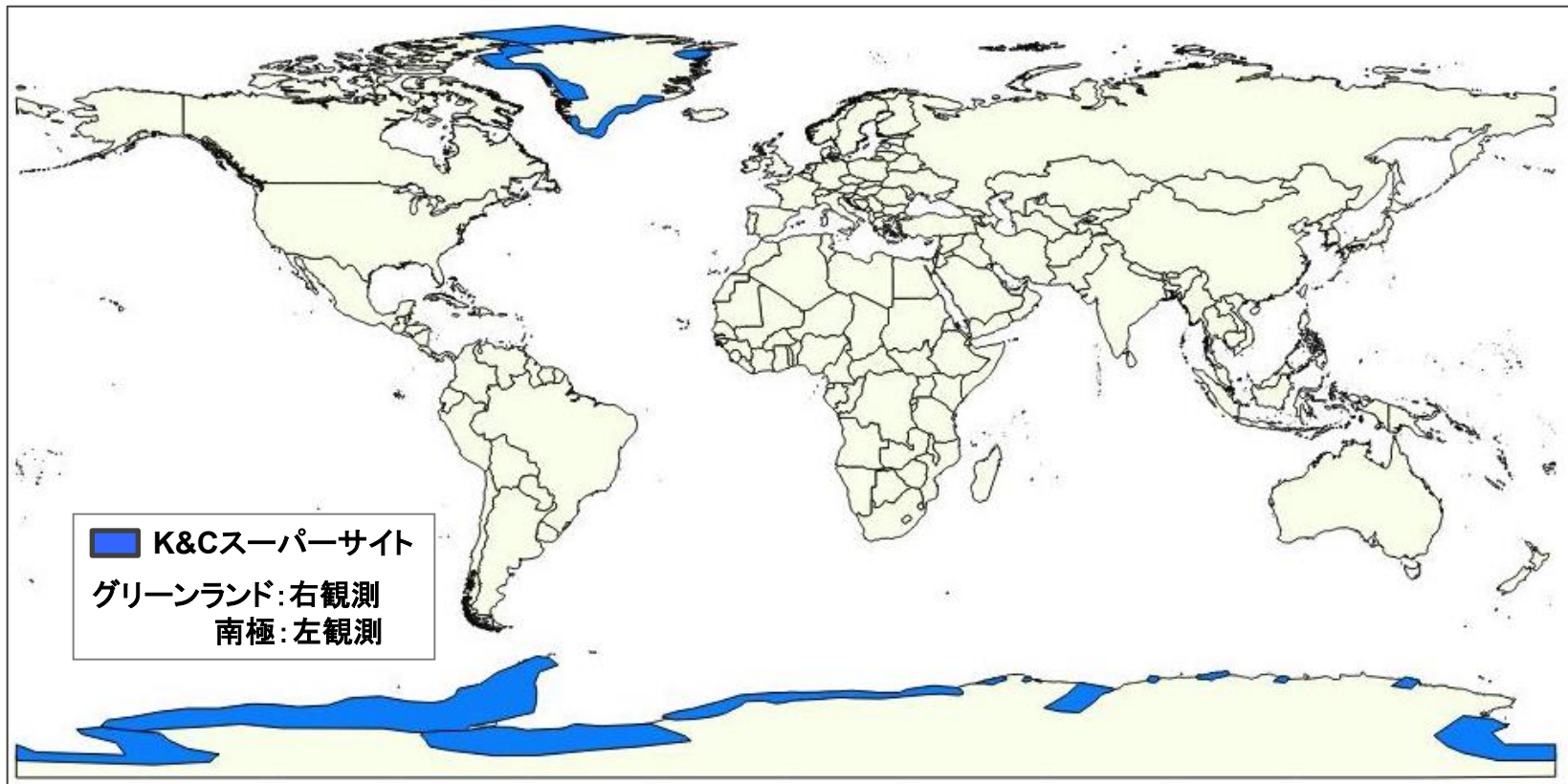
スーパーサイト (K&C)

氷河流動モニタリング

観測頻度: 降交軌道 南極 4回/年、昇交軌道 グリーンランド 3回/年

分解能: 10 m (オフナディア角 32.5°)

観測モード: 高分解能(HH/28MHz)

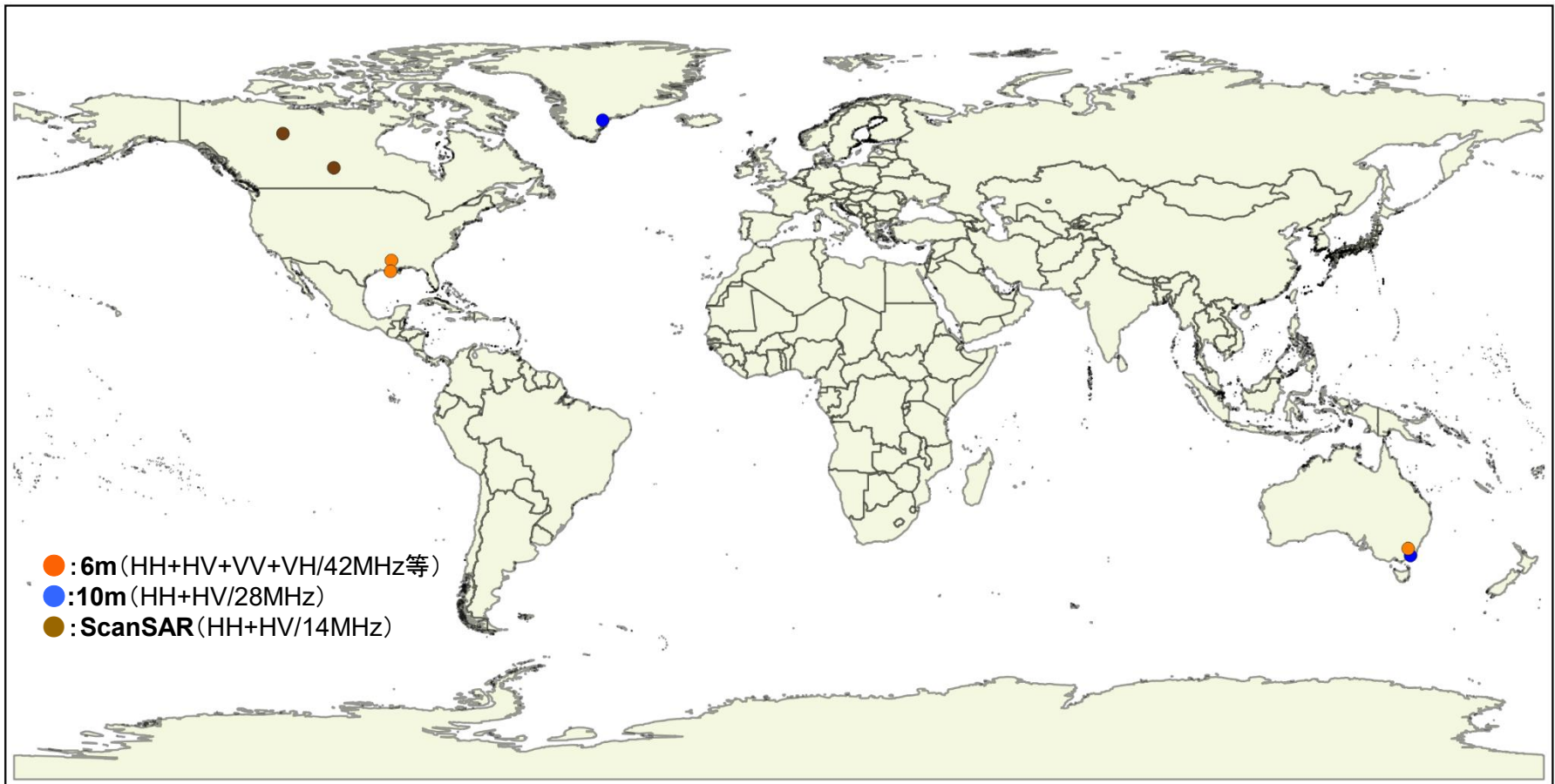


スーパーサイト (K&C)

K&Cスーパーサイト(248回帰以降)

観測頻度：基本シナリオに影響しない範囲で観測

分解能、観測モード：ユーザの要求に基づく



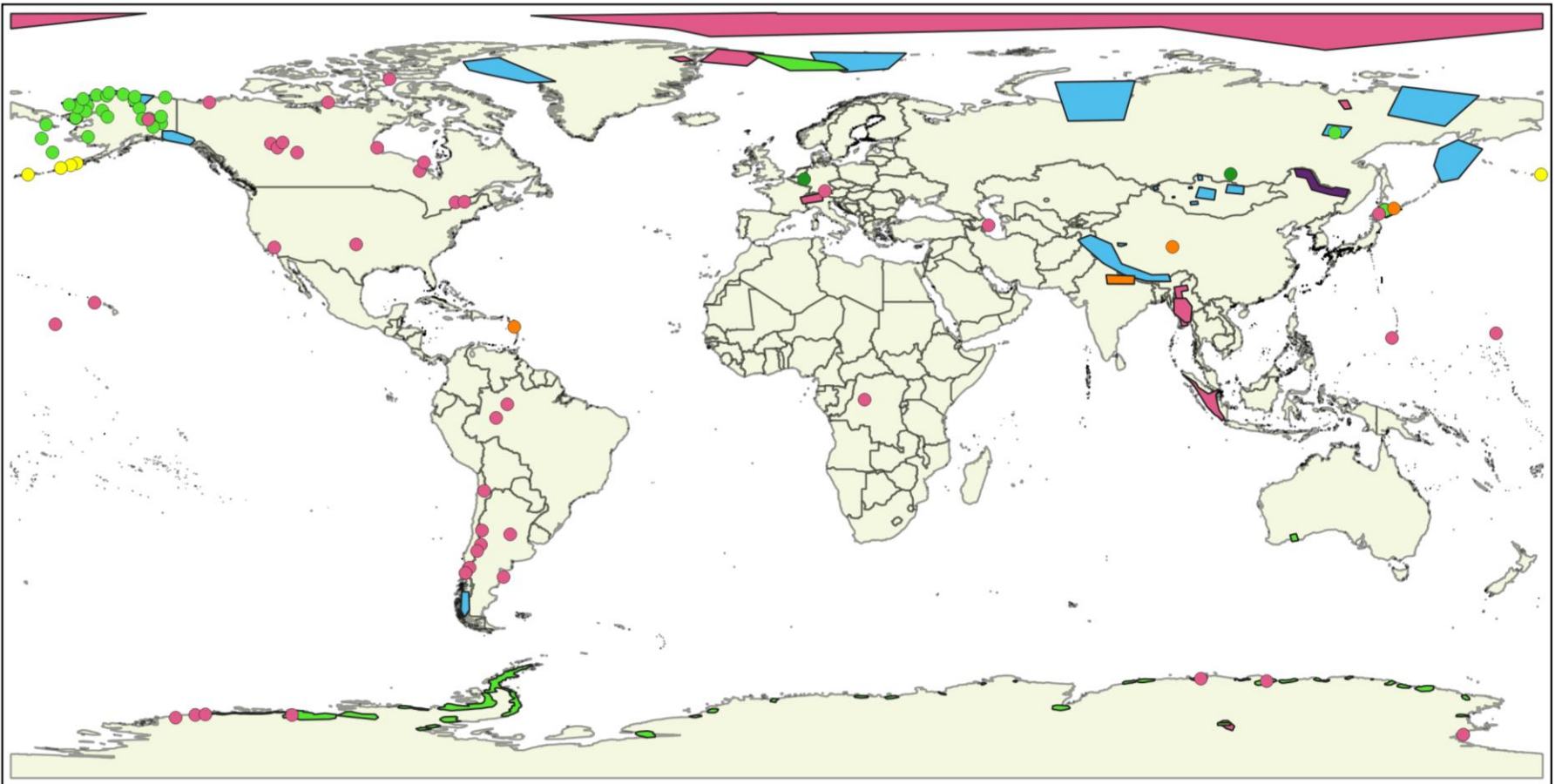
スーパーサイト (PI)

PIスーパーサイト(294回帰以降)

観測頻度: 基本シナリオに影響しない範囲で観測

分解能、観測モード: 各PIの要求に基づく

- : Polar research and Snow
- : Disaster
- : Hydrology and Agriculture
- : Land use and Forestry
- : Cryosphere
- : Volcano
- : ALOS-4 CVST



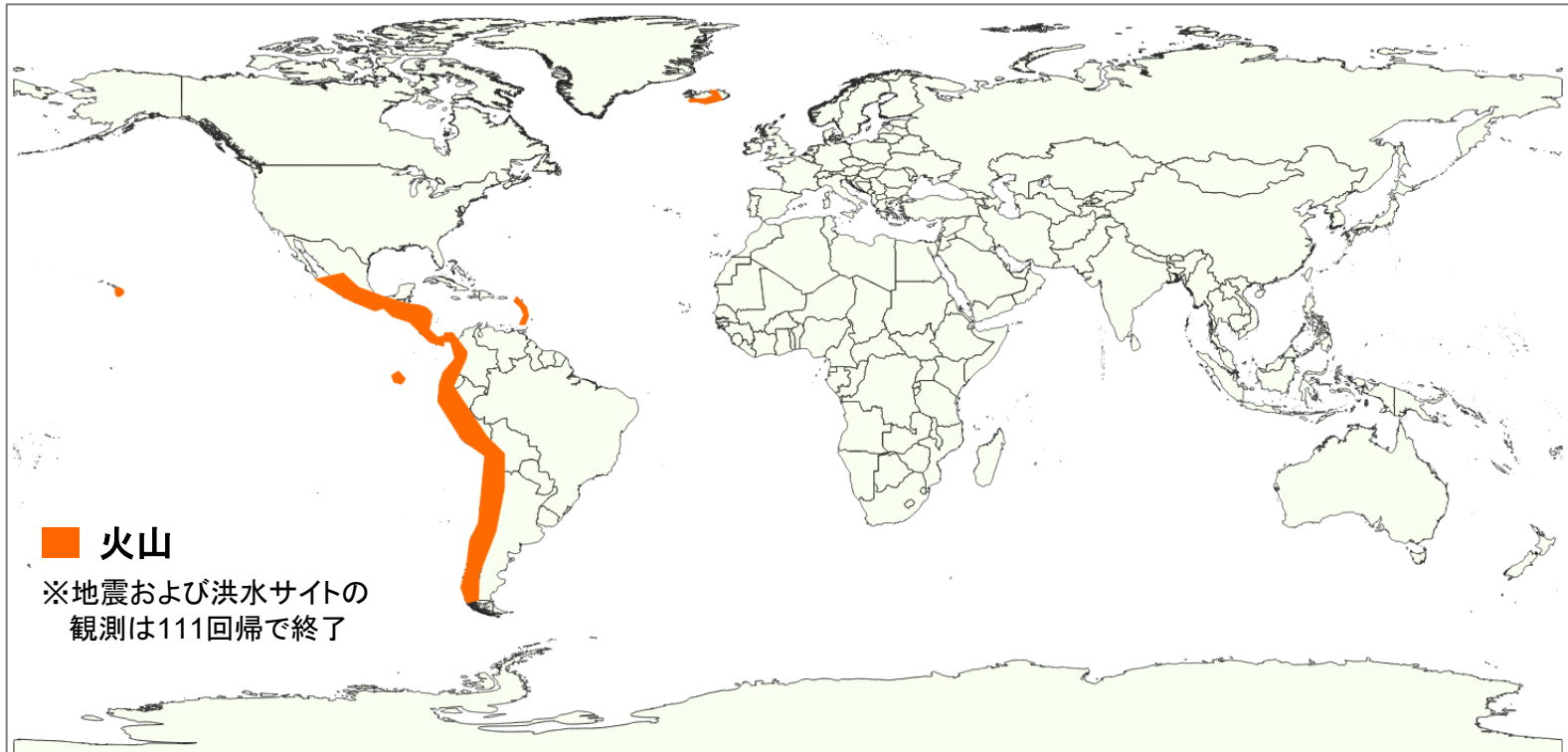
スーパーサイト (CEOS)

CEOS要求(300回帰以降削除)

観測頻度: 基本シナリオと相乗して観測

分解能: 10 m (オフナディア角 $28.2^{\circ} - 36.2^{\circ}$)
& 100 m (オフナディア角 $26.2^{\circ} - 41.8^{\circ}$)

観測モード: 高分解能 (HH+HV/28MHz) & 広域観測 350km (HH+HV/14MHz)



卷末付録

基本観測シナリオ(日本域) 【1～3年目:観測パターン】

■1年目

回帰年	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27				
回帰開始日	08/04	08/18	09/01	09/15	09/29	2014年		10/13	10/27	11/10	11/24	12/08	12/22	01/05	01/19	02/02	02/16	03/02	03/16	03/30	2015年		04/13	04/27	05/11	05/25	06/08	06/22	07/06	07/20
降交軌道 (南行)	災害ベースマップ						災害ベースマップ			災害ベースマップ+海水			海水		災害ベースマップ + 海水							災害ベースマップ								
	U2 (6)R	U2 (7)R		U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)L	U2 (7)L	W2 (2)L	W2(2)L U2(8)L	W2(2)L U2(9)L	W2 (2)L	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R			U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L	U3 (14)L		
	災害ベースマップ						災害ベースマップ								定期的な差分干渉観測							定期的な差分干渉観測								
昇交軌道 (北行)	U2 (6)R	U2 (7)R		U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)L	U2 (7)L	W2 (2)L	U2 (8)L	U2 (9)L	W2 (2)L		U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				

■2年目

回帰年	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53		
回帰開始日						2015年						2016年																
	08/03	08/17	08/31	09/14	09/28	10/12	10/26	11/09	11/23	12/07	12/21	01/04	01/18	02/01	02/15	02/29	03/14	03/28	04/11	04/25	05/09	05/23	06/06	06/20	07/04	07/18		
降交軌道 (南行)	定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測+海水				海水				定期的な差分干渉観測 + 海水					定期的な差分干渉観測				
		W2 (2)R	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	W2(2)R U2(9)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R			
															U2(6)R	U2(7)R	(2)R	U2(8)R	U2(9)R	(2)R								
昇交軌道 (北行)	定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測							
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		

■3年目

回帰年	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79		
回帰開始日						2016年						2017年																
	08/01	08/15	08/29	09/12	09/26	10/10	10/24	11/07	11/21	12/05	12/19	01/02	01/16	01/30	02/13	02/27	03/13	03/27	04/10	04/24	05/08	05/22	06/05	06/19	07/03	07/17		
降交軌道 (南行)	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測+海水					海水			定期的な差分干渉観測 + 海水					海水		定期的な差分干渉観測						
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	W2(2)R U2(9)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R	W2(2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				
昇交軌道 (北行)	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測			定期的な差分干渉観測					定期的な差分干渉観測								
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
黒字		左観測	HH	6-9
白字		右観測	HH	10-14
黒字		左観測	HH	10-14
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】
例: **F2 (6) R** の場合
F2 ビーム区分
(6) ビームNo
R 観測方向
(R: 右、L: 左)

 ベースマップ以外の観測

基本観測シナリオ（日本域）【4～6年目：観測パターン】

■4年目

回帰	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	
年	2017年											2018年															
回帰開始日	07/31	08/14	08/28	09/11	09/25	10/09	10/23	11/06	11/20	12/04	12/18	01/01	01/15	01/29	02/12	02/26	03/12	03/26	04/09	04/23	05/07	05/21	06/04	06/18	07/02	07/16	
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測					海水			定期的な差分干渉観測 + 海水					海水		定期的な差分干渉観測					
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R
アセン ディング						災害ベースマップ						定期的な差分干渉観測				定期的な差分干渉観測						災害ベースマップ					
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R	U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L	U3 (14)L		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R			U3 (10)R	U3 (11)R	U3 (12)R	U3 (13)R	U3 (14)R	W2 (2)R

■5年目

回帰年	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131		
回帰開始日	2018年												2019年															
	07/30	08/13	08/27	09/10	09/24	10/08	10/22	11/05	11/19	12/03	12/17	12/31	01/14	01/28	02/11	02/25	03/11	03/25	04/08	04/22	05/06	05/20	06/03	06/17	07/01	07/15		
ディセンディング	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測 + 海水						海水		定期的な差分干渉観測 + 海水						海水		災害ベースマップ					
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L			
アセンディング						災害ベースマップ							定期的な差分干渉観測							定期的な差分干渉観測								
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R	U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L	W2 (2)L					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		

■6年目

回帰年	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157			
回帰開始日	2019年												2020年																
	07/29	08/12	08/26	09/09	09/23	10/07	10/21	11/04	11/18	12/02	12/16	12/30	01/13	01/27	02/10	02/24	03/09	03/23	04/06	04/20	05/04	05/18	06/01	06/15	06/29	07/13			
ディセンディング	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測 + 海水						海水			定期的な差分干渉観測 + 海水						海水		定期的な差分干渉観測					
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				
アセンディング							定期的な差分干渉観測								定期的な差分干渉観測								定期的な差分干渉観測						
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R	FP (7)R		

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
黒字		左観測	HH	6-9
白字		右観測	HH	10-14
黒字		左観測	HH	10-14
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例：F2 (6) Rの場合

F2 ビーム区分

(6) ビームNo

R 観測方向

(R: 右、L: 左)

- * 昇交軌道の84回帰(FP6-7)、94回帰(U2-9)、110回帰(FP6-7)、157回帰(FP6-7)については、他のビームで観測されたパス間にギャップが発生するパスのみ観測を行う
- * 降交軌道の91-99回帰、117-125回帰、143-151回帰は海水観測のため、回帰毎に数パスは広域観測モードでオホーツク海周辺の観測を行う



ベースマップ以外の観測

基本観測シナリオ（日本域）【7～9年目：観測パターン】

■7年目

回帰	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183
年	2020年												2021年													
回帰開始日	07/27	08/10	08/24	09/07	09/21	10/05	10/19	11/02	11/16	11/30	12/14	12/28	01/11	01/25	02/08	02/22	03/08	03/22	04/05	04/19	05/03	05/17	05/31	06/14	06/28	07/12
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測 + 海水					海水			定期的な差分干渉観測 + 海水				海水			災害ベースマップ				
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L
アセン ディング					災害ベースマップ									定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測						
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L	U3 (14)L						U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R

■8年目

回帰	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	
年	2021年												2022年														
回帰開始日	07/26	08/09	08/23	09/06	09/20	10/04	10/18	11/01	11/15	11/29	12/13	12/27	01/10	01/24	02/07	02/21	03/07	03/21	04/04	04/18	05/02	05/16	05/30	06/13	06/27	07/11	
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測					災害ベースマップ + 海水						海水				定期的な差分干渉観測 + 海水				海水			定期的な差分干渉観測				
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		W2 (2)L	U3 (10)R	U3 (11)R	U3 (12)R	U3 (13)R	U3 (14)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		
アセン ディング							定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測							災害ベースマップ							
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L		

■9年目

9年日																												
回帰年	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235		
	2022年												2023年															
回帰開始日	07/25	08/08	08/22	09/05	09/19	10/03	10/17	10/31	11/14	11/28	12/12	12/26	01/09	01/23	02/06	02/20	03/06	03/20	04/03	04/17	05/01	05/15	05/29	06/12	06/26	07/10		
ディセンディング	定期的な差分干渉観測					災害ベースマップ + 海水				海水				定期的な差分干渉観測 + 海水				海水		定期的な差分干渉観測								
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R			U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		
アセンディング							定期的な差分干渉観測							定期的な差分干渉観測							災害ベースマップ							
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		W2 (2)L	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U3 (10)R	U3 (11)R	U3 (12)R	U3 (13)R	U3 (14)R	

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
黒字		左観測	HH	6-9
白字		右観測	HH	10-14
黒字		左観測	HH	10-14
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例：F2 (6) Rの場合

F2 ビーム区分

(6) ビームNo

R 観測方向

(R: 右、L: 左)



ベースマップ以外の観測

* 降交軌道の12月～4月は海水観測により、回帰毎に数パスは広域観測モードでオホーツク海周辺の観測を行う

基本観測シナリオ（日本域）【10～11年目：観測パターン】

■10年目

回帰	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	
年	2023年												2024年														
回帰開始日	07/24	08/07	08/21	09/04	09/18	10/02	10/16	10/30	11/13	11/27	12/11	12/25	01/08	01/22	02/05	02/19	03/04	03/18	04/01	04/15	04/29	05/13	05/27	06/10	06/24	07/08	
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測						定期的な差分干渉観測 + 海水					海水			定期的な差分干渉観測 + 海水					海水			災害ベースマップ				
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R					U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L	U3 (14)L
アセン ディング							定期的な差分干渉観測						災害ベースマップ														
	FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R			U3 (10)L	U3 (11)L	U3 (12)L	U3 (13)L	U3 (14)L				FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		

■11年目

回帰	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	
年	2024年												2025年														
回帰開始日	07/22	08/05	08/19	09/02	09/16	09/30	10/14	10/28	11/11	11/25	12/09	12/23	01/06	01/20	02/03	02/17	03/03	03/17	03/31	04/14	04/28	05/12	05/26	06/09	06/23	07/07	
ディセン ディング	定期的な差分干渉観測						災害ベースマップ + 海水					海水		定期的な差分干渉観測 + 海水				海水			定期的な差分干渉観測						
	U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		W2 (2)L	U3 (10)R	U3 (11)R	U3 (12)R	U3 (13)R	U3 (14)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R		
アセン ディング	災害ベースマップ						定期的な差分干渉観測							定期的な差分干渉観測													
		U2 (6)L	U2 (7)L	U2 (8)L	U2 (9)L		U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				U2 (6)R	U2 (7)R	U2 (8)R	U2 (9)R				FP (3)R	FP (4)R	FP (5)R	FP (6)R	FP (7)R		

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
黒字		左観測	HH	6-9
白字		右観測	HH	10-14
黒字		左観測	HH	10-14
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例：F2 (6) Rの場合

F2 ビーム区分

(6) ビームNo

R 観測方向

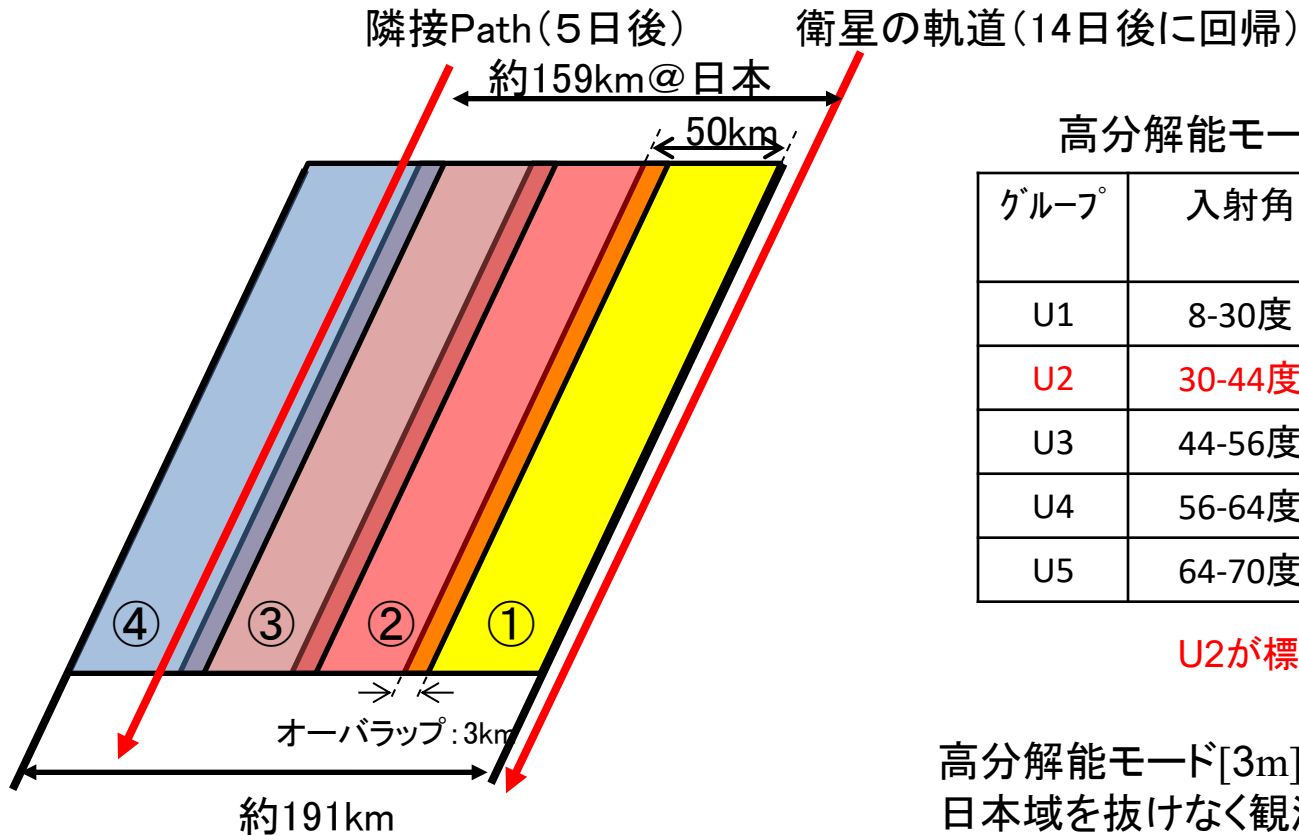
(R: 右、L: 左)



* 降交軌道の12月～4月は海水観測により、回帰毎に数パスは広域観測モードでオホーツク海周辺の観測を行う

日本域における抜けのない観測に必要な観測数について

高分解能モード[3m]



高分解能モード[3m]の入射角

グループ°	入射角	Path間カバーに必要なビーム数
U1	8-30度	5ビーム
U2	30-44度	4ビーム
U3	44-56度	5ビーム
U4	56-64度	5ビーム
U5	64-70度	5ビーム

U2が標準の入射角

高分解能モード[3m]は観測幅が50kmであり、
日本域を抜けなく観測するには
U2の4ビーム(入射角)を揃える必要がある
⇒最短 $14 \times 4 = 56$ 日必要

日本域における「災害用」ベースマップの観測条件について

観測条件項目	高分解能[3m]モード		広域観測[350km]モード
衛星飛行方向	降交(南行)および 昇交(北行)	降交(南行)および 昇交(北行)	降交(南行)および 昇交(北行)
ビーム方向	左および右		
ビーム範囲(入射角)	U2(30.2°~44.4°)	U3(44.3°~55.8°)	W2(25.7°~49°)
偏波	単偏波(HH)		2偏波(HH+HV)
周波数帯域	84MHz		28MHz

日本域における「定期的差分干渉用」ベースマップの観測条件について

観測条件項目	高分解能[3m]モード	広域観測[350km]モード
衛星飛行方向	降交(南行)および昇交(北行)	
ビーム方向	右	
ビーム範囲(入射角)	U2(30.2°~44.4°)	W2(25.7°~49°)
偏波	単偏波(HH)	2偏波(HH+HV)
周波数帯域	84MHz	28MHz

干渉の頻度を優先。観測は毎年同じ時期に実施。

日本域シナリオに基づく再訪時間、差分干渉頻度(解析結果)

①災害用ベースマップ整備後の再訪時間(同一条件の発災後観測)

観測モード	平均	最長
U2(降交・昇交)U3(降交のみ)	65時間	74時間*
U2(降交・昇交)U3(降交・昇交)	53時間	62時間*
参考:U2(降交・昇交)W2(降交・昇交)	61時間	132時間

*九州沖縄の極小領域等南の一部を除いた時間

②定期的な差分干渉観測頻度(注:災害時の緊急観測は別途あり)

軌道方向	高分解能3m		広域観測350km	
	最大観測回数(年)**	干渉SARの間隔	最大観測回数(年)**	干渉SARの間隔
降交・右	4	3ヶ月～3.5ヶ月	6	1.5ヶ月～4.5ヶ月
昇交・右	4	2.5ヶ月～3.5ヶ月	6	1.5ヶ月～4.5ヶ月

** 地殻変動以外のユーザとの競合が無い場合

基本観測シナリオ(世界)【1～3年目：観測パターン】

■1年目

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
年	2014年												2015年														
回帰開始日	08/04	08/18	09/01	09/15	09/29	10/13	10/27	11/10	11/24	12/08	12/22	01/05	01/19	02/02	02/16	03/02	03/16	03/30	04/13	04/27	05/11	05/25	06/08	06/22	07/06	07/20	
ディセン ディング	地殻 渾地・伐採	南極域 Super Site	地殻 渾地・伐採	南極域 Super Site	N 65以上 490km	地殻 渾地・伐採	全球3m (1/3)			地殻 渾地・伐採	全球3m (1/3)		地殻 渾地・伐採	N 65以上 490km	地殻 渾地・伐採	地殻・森林 (14-day InSAR)		地殻 渾地・伐採	地殻・森林 (14-day InSAR)		地殻 渾地・伐採	地殻・森林 (14-day InSAR)		地殻 渾地・伐採	N 65以上 490km	地殻 渾地・伐採	
	W2 (2)R	F2(6)L	W2 (2)R	F2(6)L	V2(2)R	W2 (2)R	U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R		V2(2)R	W2 (2)R	F2 (5)R	F2 (5)R	W2 (2)R	F2 (6)R	F2 (6)R	W2 (2)R	F2 (7)R	F2 (7)R	W2 (2)R	V2(2)R	W2 (2)R	
アセン ディング	地殻	極域	World 1-1(10m)				World 2-1(10m)			極域	北極域	World 1-2(10m)			グリーンランド Super Site	グリーンランド Super Site	ポラリメトリ観測6m (1/5)					World 2-2(10m)					
	W2 (2)R	W2(2)R W2(2)L	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R		F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	W2(2)R W2(2)L	W2(2)R	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R		F2(6)R	F2(6)R	FP (6)R	FP (5)R	FP (4)R	FP (3)R	FP (7)R		F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	

■2年目

回帰開始年	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53
回帰開始日	08/03	08/17	08/31	09/14	09/28	2015年						2016年														07/18
ディセンディング	南極域 Super Site	南極域 Super Site	地殻 渾地・伐採	南極域 Super Site	N 65以上 490km	地殻 渾地・伐採	全球3m (2/3)		地殻 渾地・伐採	全球3m (2/3)		地殻 渾地・伐採	N 65以上 490km		地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採	地殻 渾地・伐採	
			W2		V2(2)R	W2	U2	U2	W2	U2	U2	W2		V2(2)R	W2	F2	F2	W2	F2	F2	W2	F2	F2	W2		
	F2(6)L	F2(6)L	(2)R	F2(6)L		(2)R	(6)R	(7)R	(2)R	(8)R	(9)R	(2)R			(2)R	(5)R	(6)R	(2)R	(7)R	(5)R	(2)R	(6)R	(7)R	(2)R		(2)R
アセンディング	北極域	極域	World 1-1(10m)				World 2-1(10m)				極域	南極域	World 1-2(10m)				グリーンランド Super Site	グリーンランド Super Site	ポラリメトリ観測6m (2/5)					World 2-2(10m)		
	W2(2)R	W2(2)R	F2	F2	F2		F2	F2	F2	W2(2)R	W2(2)L	F2	F2	F2		FP	FP	FP	FP	FP		F2	F2	F2		
		W2(2)L	(7)R	(5)R	(6)R		(7)R	(5)R	(6)R	W2(2)L		(7)R	(5)R	(6)R	F2(6)R	F2(6)R	(6)R	(5)R	(4)R	(3)R	(7)R		(7)R	(5)R	(6)R	

■3年目

年	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
回帰開始日	2016年											2017年														
	08/01	08/15	08/29	09/12	09/26	10/10	10/24	11/07	11/21	12/05	12/19	01/02	01/16	01/30	02/13	02/27	03/13	03/27	04/10	04/24	05/08	05/22	06/05	06/19	07/03	07/17
ディセン ディング	南極域 Super Site	南極域 Super Site	地殻 渾地・伐採	南極域 Super Site		地殻 渾地・伐採	全球3m (2/3)		地殻 渾地・伐採	全球3m (2/3)		地殻 渾地・伐採			地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採	地殻・森林		地殻 渾地・伐採		地殻 渾地・伐採
	F2(6)L	F2(6)L	W2 (2)R	F2(6)L		W2 (2)R	U2 (6)R	U2 (7)R	W2 (2)R	U2 (8)R	U2 (9)R	W2 (2)R			W2 (2)R	F2 (5)R	F2 (6)R	W2 (2)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2 (2)R	F2 (6)R	F2 (7)R	W2 (2)R		W2 (2)R
アセン ディング	北極域	極域	World 1-1(10m)					World 2-1(10m)			極域	南極域	World 1-2(10m)			グリーンランド Super Site	グリーンランド Super Site	ポラリメトリ観測6m (3/5)					World 2-2(10m)			
	W2(2)R	W2(2)R	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R			F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	W2(2)R	W2(2)L	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R		FP (6)R	FP (5)R	FP (4)R	FP (3)R	FP (7)R		F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	
		W2(2)L										W2(2)L				F2(6)R	F2(6)R	(6)R	(5)R	(4)R	(3)R					

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	高分解能10m	右観測	HH+HV	5-7
黒字		左観測	HH+HV	6
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		右観測	HH	2
黒字	広域観測490km	左観測	HH+HV	2
白字		右観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例: F2 (6) Rの場合

- F2 ビーム区分
(6) ビームNo
R 観測方向 (R: 右, L: 左)

F2 (6) R スーパーサイト

■7年目

	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183
回帰年	2020年												2021年													
回帰開始日	07/27	08/10	08/24	09/07	09/21	10/05	10/19	11/02	11/16	11/30	12/14	12/28	01/11	01/25	02/08	02/22	03/08	03/22	04/05	04/19	05/03	05/17	05/31	06/14	06/28	07/12
ディセンディング	南極域 Super Site	湿地伐採2 南極域 SuperSite	湿地 伐採1	地殻1 南極域 Super Site	湿地伐採2 地殻2 南極域Super	湿地 伐採1	地殻1 10m Super Site	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1 10m Super	地殻1 10m Super Site	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1	地殻1	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1	地殻1	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1	地殻1	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1	地殻1	湿地伐採2 地殻2	湿地 伐採1	湿地 伐採2	湿地 伐採1
		W2(2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2 (2)R	F2 (7)R	W2(2)R	W2 (2)R	F2 (5)R	W2(2)R	W2 (2)R	F2 (6)R	W2(2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R
	F2(6)L	F2(6)L	(2)R	F2(6)L	F2(6)L	(2)R	F2(7)R	W2(2)R	F2(5)R	F2(6)R	W2(2)R	(2)R	(2)R	W2(2)R	F2(7)R	F2(7)R	(2)R	F2(5)R	F2(5)R	W2(2)R	(2)R	F2(6)R	F2(6)R	(2)R	W2(2)R	W2(2)R
アセンディング	World E(10m)			地殻	極域	World F(10m)						World A(10m)			北極域 グリーンランド Super Site 南極域		World B(10m)			World C(10m)			World D(10m)			
	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	W2 (2)R	W2(2)R W2(2)L	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R				F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	W2(2)R	F2(6)R W2(2)L	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R			F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R

■8年目

[illegible]

■9年目

年	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235
回帰開始日	07/25	08/08	08/22	09/05	09/19	10/03	10/17	10/31	11/14	11/28	12/12	12/26	01/09	01/23	02/06	02/20	03/06	03/20	04/03	04/17	05/01	05/15	05/29	06/12	06/26	07/10
ディセンディング		湿地伐採2	湿地伐採1	地殻1	湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1	湿地伐採2	湿地伐採1
		W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R		W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2(2)R
アセンディング	World E(10m)			地殻	極域	World F(10m)					World A(10m)			北極域	南極域	World B(10m)			World C(10m)			World C(10m)		World D(10m)		
	F2(7)R	F2(5)R	F2(6)R	W2(2)R	W2(2)R	F2(7)R	F2(5)R	F2(6)R			F2(6)R	F2(7)R	F2(5)R	W2(2)R		F2(6)R	F2(7)R	F2(5)R	F2(6)R	F2(7)R		F2(5)R		F2(6)R	F2(7)R	F2(5)R

* 9年目以降は優先度3050以上のみ記載

凡例	観測モード	観測方向	偏波	π - μ -No 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	高分解能10m	右観測	HH+HV	5-7
黒字		左観測	HH+HV	6
白字		右観測	HH+HV	2
黒字		右観測	HH	2
黒字	広域観測350km	左観測	HH+HV	2
白字		広域観測490km	右観測	HH+HV
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

【番号体系】

例：F2 (6) Rの場合

F2 ビーム区分

(6) ビームNo

R 観測方向(R:右、L:左)

☐ スーパーサイト

基本観測シナリオ(世界) 【10～11年目:観測パターン】

■10年目

回帰年	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261
回帰開始日	07/24	08/07	08/21	09/04	09/18	10/02	10/16	10/30	11/13	11/27	12/11	12/25	01/08	01/22	02/05	02/19	03/04	03/18	04/01	04/15	04/29	05/13	05/27	06/10	06/24	07/08
ディセンディング		湿地伐採2	湿地伐採1	地殻1	湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2	湿地伐採1		湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)
		W2 (2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R
アセンディング	World E(10m)			地殻 ScanSAR置き換え1	極域	World F(10m)				ScanSAR置き換え2	World A(10m)			北極域	南極域	World B(10m)			World C(10m)			World C(10m)		World D(10m)		
	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2(2)R	W2(2)R	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R		W2 (2)R	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2(2)R		F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	F2 (7)R		F2 (5)R		F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R
				W2(2)R	W2(2)L										W2(2)L											

■11年目

回帰年	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287
回帰開始日	07/22	08/05	08/19	09/02	09/16	09/30	10/14	10/28	11/11	11/25	12/09	12/23	01/06	01/20	02/03	02/17	03/03	03/17	03/31	04/14	04/28	05/12	05/26	06/09	06/23	07/07
ディセンディング		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	地殻1	湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)			湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)		湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)		湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)		湿地伐採2 (A)	湿地伐採1 (A)	湿地伐採2 (A+B)	湿地伐採1 (A+B)
		W2 (2)R	W2 (2)R	W2(2)R	W2(2)R	W2 (2)R			W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R		W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R	W2 (2)R
アセンディング	World E(10m)			地殻 ScanSAR置き換え1	極域	World F(10m)				ScanSAR置き換え2	World A(10m)			北極域	南極域	World B(10m)			World C(10m)			World C(10m)		World D(10m)		
	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2(2)R	W2(2)R	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R		W2 (2)R	F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	W2(2)R		F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R	F2 (6)R	F2 (7)R		F2 (5)R		F2 (6)R	F2 (7)R	F2 (5)R
				W2(2)R	W2(2)L										W2(2)L											

* 9年目以降は優先度3050以上のみ記載

凡例	観測モード	観測方向	偏波	ビームNo 範囲
白字	高分解能3m	右観測	HH	6-9
白字	高分解能6m	右観測	HH+HV+VH+VV	3-7
白字	高分解能10m	右観測	HH+HV	5-7
黒字		左観測	HH+HV	6
白字	広域観測350km	右観測	HH+HV	2
黒字		右観測	HH	2
黒字		左観測	HH+HV	2
白字	広域観測490km	右観測	HH+HV	2
白抜き	フリー	リカバリ観測のための回帰		

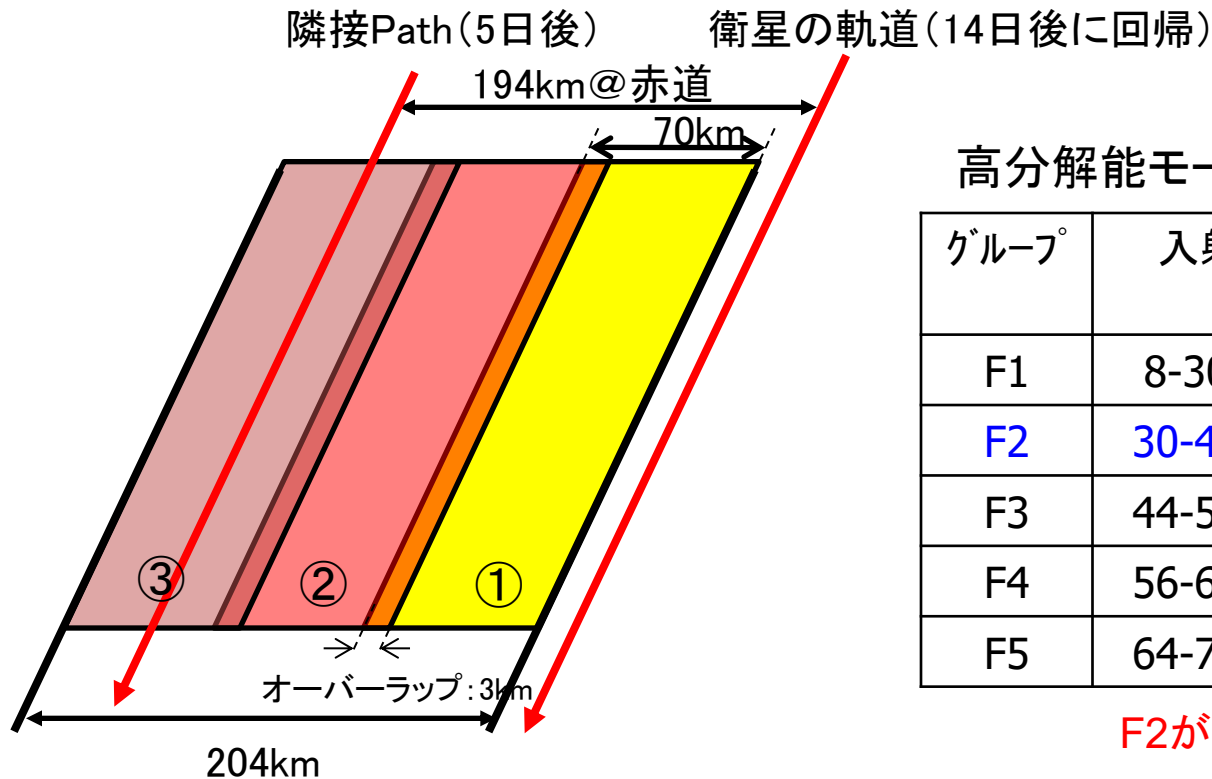
【番号体系】

例: F2 (6) Rの場合

- F2
- ビーム区分
- (6)
- ビームNo
- R
- 観測方向(R:右、L:左)

世界における抜けのない観測に必要な観測数について

高分解能モード[10m]



高分解能モード[10m]の入射角

グループ°	入射角	Path間カバーに必要なビーム数
F1	8-30 度.	4 ビーム
F2	30-44 度.	3 ビーム
F3	44-56 度.	5 ビーム
F4	56-64 度.	5 ビーム
F5	64-70 度.	5 ビーム

F2が標準の入射角

高分解能モード[10m]は観測幅が70kmであり、
世界陸域を抜けなく観測するには
F2の3ビーム(入射角)を揃える必要がある
⇒最短 $14 \times 3 = 42$ 日必要